

## タイ大学統一入試問題日本語科目と高校生向け日本語教科書の比較

香山 恆毅

### 1. はじめに

タイの大学統一入試Admissionsの専門的知識日本語科目問題（以下、『PAT』）は<sup>(1)</sup>、初めて見たとき難しそうだと感じた。一方、高校生向け日本語教科書『日本語 あきこと友だち』（以下、『あきこ』）は<sup>(2)</sup>、高校生の日常生活を背景に展開されているため、特に高校生には親しみやすそうである。しかし、『あきこ』を勉強するだけで『PAT』が解けるのかという疑問を持った。

上の印象は感覚的なものである。大学入試科目として日本語を指導する際、使用教科書や指導内容が大学入試に適応しているという根拠が必要であった。そこで本稿は、『PAT』と『あきこ』の差を調査した。比較対象の教科書に『あきこ』を選んだ理由は、『あきこ』がタイの中等教育機関で広く使われているからである（「4.2」項参照）。

### 2. 調査の目的

- (1) 『あきこ』は、『PAT』の内容をどのぐらいカバーしているのか、3つの項目：語彙、文法、漢字、について明らかにする。
- (2) この結果、学習者に提案できることがあれば、それをまとめる。

### 3. 先行研究と本調査の位置づけ

『PAT』について、2つの論文と2つの書籍を調べた。論文について、Pranee (2006) は、助詞に関する設問について受験者の正誤答の傾向を調べていた。鈴木・内田 (2008) は、読解問題の特徴を分析していた。これは『あきこ』の副教材開発のための調査であった。そして、『PAT』読解問題の難しさの要因に、設問の問い方および扱われるトピック、この2つを挙げていた。

書籍について、ปราวณี・ผกาทิพย์・สุชาติ (2010) は、過去の『PAT』（以下、「過去問」）を回別に載せている（8年分、計14回分）。最新2回分についてはタイ語訳と各問題への解説がある。また、巻末に14回分の語彙をまとめてある。สุภา (2010) は、過去問を項目別に載せている（読解問題：5年分、計6回分／その他の問題：5年分）。項目別とは、「助詞／副詞／文法／会話／日本学／同内容文選択／異内容文選択／文整順」という項目立てで、5年分の問題が各項目に分類されて収められている。全問に解説がある。

『あきこ』について、2004年の発行前後にいくつかの研究が開発者から報告されていた。教科書開発の背景や特徴などのほか、ブッサバー・今枝・プラパー (2005) は、試用版に対する高校での使用感などを調査していた。

まとめると、『PAT』はそれ自体の解き方や傾向が、『あきこ』は学校現場での使用感などが、これまでに研究されている。『PAT』と『あきこ』を比較した研究は見られなかった。

## 4. 手続き

### 4.1 『PAT』の概要

この調査で一次情報として比較対象にした『PAT』は、タイの大学統一入試問題日本語科目で、次のような試験の5回分である。問題数100問。うち語彙・文法は60問、読解は8文章で各約5問の40問。300点満点。全て4択マークシート回答。試験時間3時間。試験実施機関によると<sup>(3)</sup>、平均点：約30から38%正答、標準偏差：約10から18%<sup>(4)</sup>。国際交流基金によると<sup>(4)</sup>、「日本語は、専門的知識の試験であるPATの一科目に入っており、試験は「語彙」「漢字」「文法」「日常生活で使う基礎的な表現」「日本事情」が30%、「コミュニケーション能力」「作文力」「読解力」が70%で構成されている。(中略)(この試験の点数を：注記筆者)実際に採用するかどうかは大学学科ごとに決められる。また、この共通試験を採用せずに大学が独自で入試を作成・実施することも可能である」。

### 4.2 『あきこ』の概要

同じく一次情報として比較対象にした『あきこ』は、タイ人高校生向け日本語教科書である。「タイの中等教育機関では、80%以上の学校で(中略)使われている」(国際交流基金バンコク2011:1)。ブッサバー・今枝・プラパー(2005)によると、『あきこ』作成プロジェクトは、タイ教育省と国際交流基金の協力によって始められ、タイ教育省が発表したガイドラインに沿い、学習者中心の教授法を重視したタイ教育省の基礎教育カリキュラム(西暦2001年施行)の考え方にも対応している。そして『あきこ』は、高校生に身近な話題で、大学入試への対応(日本語能力試験旧3級程度)なども考慮した、高校教室活動用教科書、週6コマで3年間使用、全30課、6冊である。本稿では、語彙1,810語(挨拶表現を含む)、文法項目169項目、漢字305文字として分析を進めた。語彙と文法項目の数は、本文、目次、そして索引を参照し、筆者の観点でこの調査に合わせて独自に集計した数である。特に文法項目数は、『あきこ』内の「かいわ」、「れんしゅう」、「どっかい」の内容を確認した後、「ぶんぼう」という項目で取り上げられているか否かを主な基準にして集計した。また、「ぶんぼう」の中で取り上げられていても、語彙として集計したものもある。例：2課の「(国名)+人」など。

### 4.3 調査する項目

語彙、文法、漢字、この3項目について、『あきこ』が『PAT』の内容を何%カバーしているかを調査した。「語彙」には「文法」で取り上げていない次のものを含む：a. 接続詞／b. 序数詞／

c. 副詞的表現/d. 挨拶表現/e. 慣用表現、など。

例：「a. そして/b. 3まい/c. とても/d. いらっしやい/e. 楽しみですね」。

#### 4.4 各調査項目の調査方法

##### 4.4.1 語彙

『あきこ』については、語彙、文法、漢字、共に「4.2」項で触れた通りである。ここでは、『PAT』について書く。『PAT』の中から『あきこ』に無い語彙（以下、未習語彙）を手作業で選び出した。そして、『PAT』の出題範囲に対し『あきこ』がカバーし得る比率を算出した。計算方法について、語彙の場合は下のよう考えた。

$$\text{『あきこ』の語彙が『PAT』をカバーし得る比率} = \frac{\text{『あきこ』の語彙数 (本稿では 1,810 語)}}{\text{『あきこ』の語彙数} + \text{『PAT』中の未習語彙数 (1 回分平均)}}$$

なお、異なり語数とした。この計算方法は、『PAT』の語彙の中に『あきこ』の語彙（以下、既習語彙）がどの程度含まれているのかを算出するものではない（ただし、『PAT』が『あきこ』の語彙をすべて使った問題を作った場合を除く）。この値は『あきこ』の可能性の最大値を示していると考えた。限られた時間の中で概略をとらえるのに足るのでこのように計算した。

また、『PAT』の過去問はインターネット（以下、ネット）上で試験機関により公開されているが、電子文字データとして認識できる提供方法ではない<sup>3)</sup>。分析にあたり筆者はまず、ネット上の過去問を手入力で電子データ化した。その後、ネット上で提供されている語彙抽出ソフトを利用してみた。しかし、語彙と文型については、この調査の目的を達成できる抽出結果は得られなかった。よって、前述のように『PAT』の未習語彙を手作業で選び出した。『あきこ』の語彙、文法、漢字も手入力で電子データ化した。このデータを用いて『PAT』から選び出した語をコンピューターで検索し、正確さを保った。更に、分析の過程で入力や分類のミスは収束した。

##### 4.4.2 文法

『PAT』から設問で問われている文法項目を選び出し、『あきこ』の文法項目 169 項目（以下、既習文法）に仕分けた。既習文法にない文法項目を未習文法とした。そして、『PAT』の出題範囲に対し『あきこ』がカバーし得る比率を算出した。計算方法を、文法は下のよう考えた。

$$\text{『あきこ』の文法が『PAT』をカバーし得る比率} = \frac{\text{選び出された既習文法の総数 (全 5 回分)}}{\text{選び出された既習文法の総数} + \text{同未習文法の総数 (両全 5 回分)}}$$

文法項目を選び出す基準は、以下の通り筆者の観点で決めた。

- (1) 『PAT』がその設問で問おうとしている文法項目であること。特に文法問題など。
- (2) 文や文章全体の内容を理解するのに必要な文法項目であること。特に読解問題など。

なお、延べ項目数とした。文法項目の選び出しは、前述の通りネット上のツールによる抽出結果が目的を達成できるものではなく、筆者の観点による手作業となった。網羅的に『PAT』を検索した、語彙、漢字とは方法が異なることを断っておく。

また「4.3」項で触れたが、ここで言う文法項目は主に句型系の項目で、接続詞などは語彙に含めた。「5.4.4」項でもこれに関連する結果を書く。

#### 4.4.3 漢字

『PAT』の中から『あきこ』に無い漢字（以下、未習漢字）をネット上のツールを利用して抽出した<sup>6)</sup>。そして、『PAT』の出題範囲に対し『あきこ』がカバーし得る比率を算出した。計算方法を、漢字は下のよう考えた。

$$\text{『あきこ』の漢字が『PAT』をカバーし得る比率} = \frac{\text{『PAT』中の『あきこ』の漢字総数 (全5回分)}}{\text{『PAT』中の漢字総数 (全5回分)}}$$

なお、延べ語数とした。異なり語数は参考として調べた。利用したネット上のツールは他研究でも利用されていて、結果は正確と判断し、検証作業は省いた。また手作業として、次の漢字を比較対象から一部外した。

- (1) 問題文が会話スクリプトで、会話の発話者人名としてしか使われていないもの：「松本」の「松」など。
- (2) 固有名詞でふりがなが振ってあるもの：「川端康成（かわばた やすなり）」など。

### 5. 調査結果と考察

#### 5.1 語彙

『あきこ』は『PAT』で使われる語彙を、異なり語彙数で98%カバーし得ることがわかった。調査結果を表1にまとめる。

表1 既習と未習の語彙数比較（異なり語彙）

	語数	割合	備考
既習	1,810 語	98%	
未習 (1回分平均)	32 語	2%	全5回分未習語数：169 語
合計	1,842 語	100%	

## 5.2 文法

『あきこ』は『PAT』で使われた文法を、述べ項目数で94%カバーし得ることがわかった。調査結果を表2にまとめる。

表2 既習と未習の文法項目数比較 (全5回分延べ項目)

	項目数	割合
既習	788 項目	94%
未習	48 項目	6%
合計	836 項目	100%

## 5.3 漢字

『あきこ』は『PAT』で使われる漢字を、延べ字数で89%、異なり字数で85%カバーし得ることがわかった。調査結果を表3にまとめる。

表3 既習と未習の漢字数比較 (全5回分漢字総数、延べ字、異なり字)

	延べ字数	割合	異なり字数	割合
既習	7,900 字	89%	305 字	85%
未習	973 字	11%	54 字	15%
合計	8,873 字	100%	359 字	100%

## 5.4 学習者への提案

下の2つの内容を中心に学習者への提案をまとめた。

- (1) 『PAT』の頻出項目：文法／漢字
- (2) 『PAT』および今後の日本語学習に有用な『あきこ』に無い項目：語彙／文法／漢字

「5.1、5.2、5.3」項の結果を導く際に、各項目の既習、未習、頻度などのデータが得られた。それに分析を加えることで、学習者の役に立ちそうなものになったので、以下にそれらをまとめる。

### 5.4.1 語彙

『あきこ』で未習語彙だが、『PAT』で頻出する語彙22語を表4に示す。これを学習することにより、「5.1」項で示したカバー率は98%から99%になり得る。

表4 有用未習語彙22語 (出現回数合計：52回)

○社長／社員／しゅっちょう／しよるい／ないよう／チェック／自動車／男性  
 気温／ふくろ／ようふく／以下  
 ○だいな／だめな／親しい  
 ○つとめる／みつかる／分ける／比べる／気になる  
 ○じつは／もちろん

(順不同)

### 5.4.2 文法

『PAT』から選び出した文法項目のうち、全体の上位10項目を表5に例示する。また、表6の未習文法4項目は、延べ出現回数が17回であった。よって、表6の未習文法を学習することにより「5.2」項で示したカバー率は94%から96%になり得る。

表5 『PAT』頻出文法10項目

分類No	課	文	機能	文型	出現回数	割合	割合累積
合計					778	100%	100%
116	21	文化祭によんでくれて、どうもありがとう。	行為の受給	Vテくれる／あげる／もらう。	33	4.2%	4%
47	10	上の 兄は ギターを ひくことが できます。	名詞化：こと／もの／…	Vdic こと	25	3.2%	7%
91	18	インターネットができてから、世界中のことがしらべられるようになりました。	行為の可能	…がVラれます	25	3.2%	11%
115	21	道がこんでいたので、おくれました。	理由複文 (ので)	S plain ので、…。 / Adj ナので、…	24	3.1%	14%
96	19	パーティーのためにおり紙でいろいろな物を作りたいんですが…。	行為の希望	Vマスたいです。	21	2.7%	16%
62	13	白いシャツを着て、黒い半ズボンをはいています。	状態の存続	V1テ、V2テいます。(状態動詞)	20	2.6%	19%
89	18	あきこさんはタイ語が上手になりました。	ある状態へ変化：自動詞的	Nに / Adj ナに / Adj イく になります。	20	2.6%	22%
130	23	この写真をスリーラットさんに見せてもいいですか。	行為の許可	Vテもいいです。 / Vテもいいですか。	20	2.6%	24%
50	11	新しいかんじがありますから、よくれんしゅうしてください。	行為を要求	Vテください。	16	2.1%	26%
51	11	新しいかんじがありますから、よくれんしゅうしてください。	理由複文 (から)	S (polite:11, plain:21) から、…。	16	2.1%	28%

表6 有用未習文法4項目 (延べ出現回数：17回) および要注意項目：\*

No	文	出現回数	機能	文型
1	安ければ、買います。	7	仮定条件	…ば、…
2	海へ行くつもりです。	4	意思	…つもり
3	けがをしないように、気をつけてください。	3	目的	…ように、…
4	行きたくないようです。	3	推量	…ようです。
*	女の子より男の子の方がせがが高いです。	10	比較	…より…の方が…

\*：下線部の「…より」は、『あきこ』の本文中にあるので未習ではないが、文法項目として用法が説明されていないので注意を要する。

### 5.4.3 漢字

『あきこ』で学習する305字のうち、その三分の一の100字で、『PAT』の漢字を81%カバーし得ることがわかった。『あきこ』の漢字表を利用して、それらを表7に示す：表内☆印の字。また、表8の未習漢字18字は、延べ出現回数が258回であった。よって、これらを学習することにより「5.3」項で示したカバー率は89%から92%になり得る。

表7 『あきこ』の漢字一覧と『PAT』頻出100文字：☆印 (カバー率：81%)

課		課	
2	日本人父母友 ☆☆☆ ☆☆	16	両親族仕事飯後紙旅前計 ☆☆ ☆
3	上中下男女子木 ☆☆ ☆☆☆	17	元悪頭早医者薬心配病院休 ☆☆☆ ☆
4	月火水金土好 ☆☆☆☆☆☆☆☆	18	歩知世界便利字漢思県乗名外風 ☆☆☆☆ ☆
5	每学校来行分時先生間寺半 ☆☆☆☆ ☆☆☆	19	教室花考正特別少借歌函館 ☆☆ ☆
6	飲今食作昼何夜見朝聞 ☆☆ ☆☆☆	20	文化祭品千百写真試合験始国 ☆☆ ☆
7	店赤色青小一三五四五六七八九十 ☆☆ ☆☆☆☆☆	21	道地有送自集客服貸門雨去 ☆☆ ☆☆☆
8	週大切海買新古安高年広 ☆☆☆ ☆☆☆	22	会午用終曜員空末場 ☆☆ ☆☆☆
9	山川楽所町泳暑長天氣田 ☆☆ ☆☆☆	23	茶短堂運転走声答開東京都止池 ☆☆ ☆☆☆
10	兄弟姉妹目才耳口足形手 ☆☆☆ ☆☆☆	24	題社西洋体北南米以不工森売 ☆☆ ☆☆☆
11	使方度説明語質問書読言 ☆☆ ☆☆☆☆☆	25	卒業私英習働死建万仏研究 ☆☆ ☆☆☆
12	入右左家電話番号出近銀 ☆☆☆☆☆☆☆☆	26	通起暗弱動和意急遠 ☆☆ ☆☆☆
13	夕物映画勉強多着白黒住 ☆☆☆☆☆☆☆☆	27	犬全部注苦太重軽引台 ☆☆ ☆☆☆
14	発帰秋春寒同持待晩車円夏冬 ☆☆ ☆☆☆☆☆	28	代鳥低首屋草 ☆☆ ☆☆☆
15	料理回洗肉音魚顔閉味 ☆☆ ☆☆☆☆☆	29	困立林野菜牛村 ☆☆ ☆☆☆
		30	礼申最様駅晴

表8 有用未習漢字18字 (大きい字) (延べ出現回数合計：258回)

宿題／留学／公園／練習／女性／結婚／寝る／返す／テストを受ける／雨が降る／忘れる／決める／表す  
痛い／本当／大変／変わる (順不同, 「女性」以外は既習語彙)

#### 5.4.4 接続詞／序数詞／副詞的表現／挨拶表現／慣用表現など

問題文から文法項目を選び出した際に多く選ばれたのは、次のような語や表現であった：「そして／だいたい／3まい／お大事に／楽しみですですね」。これらは、「ソムタムが『食べたい』です」のような文型とちがって変形しない。問題の選択肢に「1. それなら／2. それで／3. そして／4. そこで」(『PAT』2011年3月、問題No.96より)とあれば<sup>(1)</sup>、全て別ものとして選び出し、述べ項目数として集計した。それで数が増えた。

数で言うと、筆者が選び出した文法項目のうち、後者の文型系項目は全部で約870項目であったのに対し、前者の語彙・表現系項目は約300項目であった。比率の対比はしないが、語彙・表

現系の項目の習得は欠かせないであろう。

さらに、表9の見習語や表現は、今後の日本語の使用にも『PAT』にも有用だと考える。

表9 有用未習表現 18 表現

---

○なぜ	
○ところで／ところが／そこで／さらに／つまり	
○10代／2倍／3こ	
○ひさしぶり。／お先にしつれいします。／おつかれさまでした。／お世話になりました。	
○少々おまちください。／ええ、かまいません。／なるほど。	
気にしないでください。／席をはずしていますが...	(順不同)

---

#### 5.4.5 『PAT』から選び出した文法項目と、『あきこ』の学習課

『PAT』から選び出した文法項目全体(169項目)のうち、頻出上位80%となる63項目について、『あきこ』の学習課をまとめた。課ごとの選び出された回数を図1に示す。この図から、『PAT』で頻出する文法項目(63項目)のうち、高校2年生の後期以降に学習する内容は72%であることがわかった(『あきこ』6分冊のうち4冊目、17課以降の内容と判断した)。『あきこ』は積み上げ型の教科書なので、前半の項目の習得済が前提になることを注記しておく。

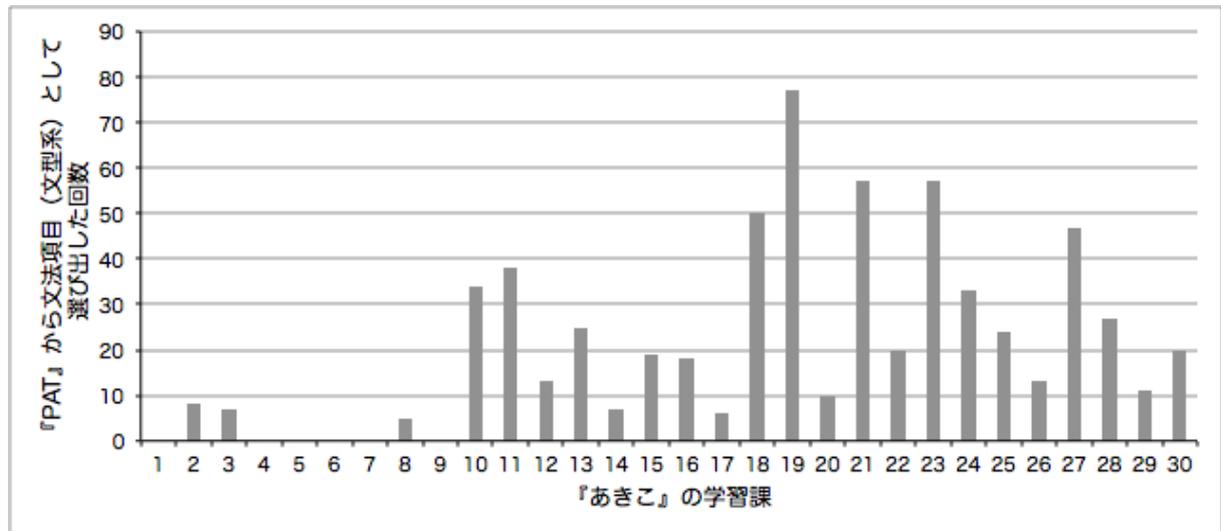


図1 『PAT』から文法項目(文型系)として選び出した回数.『あきこ』学習課

#### 5.4.6 『PAT』の解答が1つにならない設問

比較対象の『PAT』5回分では、平均して各回27の設問は(22から29問、問題全体の27%)、解答が1つにならなかった。公表されている試験結果の分析によると<sup>(3)</sup>、最低点は300点満点に対して、0点、0点、12点、30点、などである。つまり、筆者が不成立と判断した設問について、出題側はそう考えていないようである。いくつかの解答が選べる場合、タイの社会通念に従って最適と思われる選択肢を選べばよいと考える。学習者へ予備知識として付記しておく。

### 5.4.7 『PAT』読解問題の難しさについて

鈴木・内田(2008)は、「特に読解問題が難しい」というタイ人教師の声を報告している。筆者の調査で、読解問題(各回40問)とそれ以外の問題(各回60問)を比較し、次の2点がわかった。1点目は未習語彙数の差で、1問あたりの未習語彙数は、読解で2.5語、それ以外で1.2語であった。2点目は頻出文法項目の違いで、読解問題により多く現れる文型5つを表10に示す。

表10 読解問題でより多く現れる文法5項目

No	文	機能	文型
1	泳ぐのが好きです。	名詞化	Vdic の
2	たまごをつけて食べてみませんか。	付帯状況	V1 テ V2
3	そうじしたり、おさらを洗ったりしました。	行為の列挙	V1 タリ、V2 タリします
4	世界中のことがしらべられます。	行為の可能	...がVラれます
5	タイへ来る時、ビデオを見ました。	連体修飾	Splain 時/Vplain 時、...

## 6. まとめと今後の課題

『あきこ』は『PAT』の出題範囲をほとんどカバーしていることがわかった。また、『あきこ』には入っていないが、学習者に有用な語彙、文法、漢字もわかった。具体的な数値や内容などは「5. 調査結果と考察」の項に示した。また本稿で「有用な」と書いたのは、学習者が日本語の勉強を続けていく上で、早く習得すればすぐに役に立つという意味である。

次のような課題も残っている。1. 比較対象とした『PAT』は5回分でしかないこと、2. 語彙と文法項目の抽出方法やカバー率算出方法のあいまいさ、などである。特に2について、次の同様の調査までに、よりよい方法を検討したい。また、『PAT』自体の改善余地は、本稿で注目した『あきこ』との比較ではないため、実証可能な「5.4.6」項の内容にとどめた。

## 7. おわりに

『あきこ』を勉強するだけで大学入試対策は大丈夫なのか? という初めの疑問は杞憂に終わった。感覚的なものを数値などで実証および反証することができた。学習者の役に立てば幸いだ。

## 注

- (1) สถาบันทดสอบทางการศึกษาแห่งชาติ(องค์การมหาชน) 『รหัสวิชา 79 ความถนัดทางภาษาญี่ปุ่น (PAT 7.3)』のうち、本稿で比較対象にしたのは下の試験日の計5回分<sup>(2)</sup> :
  - ① 仏暦 2552(西暦 2009)年 3月 15日 / ② 2552(2009)年 7月 19日 /
  - ③ 2553(2010)年 3月 9日 / ④ 2553(2010)年 10月 12日 / ⑤ 2554(2011)年 3月 8日
- (2) สถาบันทดสอบทางการศึกษาแห่งชาติ(องค์การมหาชน): สทศ. 「Download ข้อสอบ」 / 「งานวิจัยและวิชาการ」 <<http://www.niets.or.th/>> 2012年1月7日

- (3) 国際交流基金「日本語教育国別情報 2010年度 タイ」『国際交流基金』  
<<http://www.jpf.go.jp/japanese/survey/country/2010/thailand.html>> 2012年1月7日
- (4) 川村よし子・北村達也『日本語読解学習支援システム リーディング チュウ太』  
<<http://language.tiu.ac.jp/>> 2012年1月7日

## 参考文献

- グループ・ジャマシイ編著 (1998) 『教師と学習者のための日本語文型辞典』、くろしお出版
- 国際交流基金・日本国際教育支援協会 著作・編集 (2002) 『日本語能力試験 出題基準 (改訂版)』、  
凡人社
- 国際交流基金バンコク日本文化センター日本語部 (2011) 『『あきこと友だち Can-do ハンドブック』  
のご紹介』、『タウン 国際交流基金バンコク日本文化センター日本語部ニュース 第55号』
- 佐久間勝彦 監修、Asst. Prof. Dr. Bussaba Banchongmanee 執筆委員長他 (2004) 『日本語 あきこ  
と友だち 1-6』、国際交流基金
- 鈴木由美子・内田陽子 (2008) 「タイ国大学入学試験問題 (日本語) における読解問題の分析」、  
『国際交流基金バンコク日本文化センター日本語教育紀要』第5号、国際交流基金バンコク日  
本文化センター、pp195-203
- 友松悦子・宮本淳・和栗雅子 (2007) 『どんなときどう使う 日本語基本文型 200』、アルク
- ブッサバー・バンチョンマニー・今枝亜紀・プラパー・セーントーンスック (2005) 「タイの中等  
教育用日本語教科書作成プロジェクト」『国際交流基金バンコク日本文化センター日本語教育紀  
要』第2号、国際交流基金バンコク日本文化センター、pp147-156
- Pranee JONGSUTJARITTAM (2006) 「คำช่วยที่เป็นปัญหาสำหรับผู้สอบคัดเลือกบุคคลเข้าศึกษาต่อใน  
สถาบันอุดมศึกษา」、『国際交流基金バンコク日本文化センター日本語教育紀要』第3号、国際交流  
基金バンコク日本文化センター、pp53-64
- รศ. ปราณีย์ จงสุจริตธรรม・รศ. ผกาทิพย์ สกุลกรู・ผศ. สุชาดา สัตยพงศ์ (2010) 『เฉลยข้อสอบเข้ามหาวิทยาลัย วิชา  
ภาษาญี่ปุ่น ฉบับสมบูรณ์ ตุลาคม 2541 - มีนาคม 2548』, บริษัท ดวงกลมสมัย จำกัด
- สุภาพัทมานันท์ (2010) 『รวมข้อสอบ ภาษาญี่ปุ่น ชุด ไวยากรณ์/ชุด การอ่าน』, ศูนย์หนังสือจุฬาลงกรณ์  
มหาวิทยาลัย

## 謝辞

この調査のきっかけとなった学生や学校、また、過去問を項目別にまとめて本になさった先生、  
その先生を紹介してくださった先生、アポ無しでの問い合わせに応じてくださった『あきこ』の  
執筆陣の方々、皆様にお礼申し上げます。